

<報道関係各位>

2026年4月1日

ギリアド・サイエンシズ株式会社

ギリアド・サイエンシズ株式会社 代表取締役社長交代のお知らせ
—新社長にアンドリュー・ヘクスターが就任—
—アジア、グローバルの双方で事業をけん引—

ギリアド・サイエンシズ株式会社(以下「ギリアド」、本社:東京都千代田区)は、2026年4月1日付で、アンドリュー・ヘクスターが新たな代表取締役社長に就任したことをお知らせします。2022年1月から2026年3月31日まで代表取締役社長を務めたケネット・ブライスティングの後任となります。

ヘクスターは、グローバルやアジア地域におけるバイオ医薬品業界で計20年以上にわたる業務経験があり、そのうち約10年をギリアドで過ごしてきました。2017年にギリアドの香港リージョナルオフィスに入社後、韓国や台湾を含むアジアの5カ国・地域を統括するバイスプレジデント兼ジェネラル・マネジャーとして、全ての事業領域を率いました。2021年には米国本社に異動し、バイスプレジデント兼プログラム戦略リーダーとして、世界初のHIVカプシド阻害剤である「レナカパビル」を担当しました。同剤は、科学誌「Science」により2024年の「ブレークスルー・オブ・ザ・イヤー」に選出され、2025年には、世界のHIV流行に変革をもたらす可能性が評価された結果、米国のプリ・ガリアン賞(Prix Galien USA Award)の最優秀医薬品賞(Best Pharmaceutical Product)も受賞しています。

ヘクスターは、直近ではグローバル・コマーシャル・プロダクト・ストラテジー(HIV)担当のバイスプレジデントとして、HIVの治療と予防に関する製品やパイプラインを含むHIVポートフォリオのグローバル・マーケティング戦略を統括してきました。

今回の就任にあたり、ヘクスターは次のようにコメントしています。「これまでギリアドを含め、長年にわたりアジアで生活し、働いてきました。このたび、日本法人、そして日本の素晴らしいチームを率いることを大変楽しみにしています。当社には、HIV、オンコロジー、肝炎、COVID-19、炎症といった全ての事業領域において、多くの方々に貢献できる革新的なイノベーションがあります。日本において、同僚やさまざまなステークホルダーの皆様と協力し、これらのイノベーションを患者さんやコミュニティーに届けていきます」

アンドリュー・ハクスター



経歴

- 2002年～2008年 シェリング・プラウ社(米国、フィリピン、韓国)
- 2009年～2015年 アッヴィ合同会社(香港、米国)
- 2016年～2017年 セルジーン社(韓国)
- 2017年～2021年 ギリアド・サイエンシズ(香港)
バイスプレジデント兼ジェネラル・マネジャー
- 2021年～2024年 ギリアド・サイエンシズ(米国)
バイスプレジデント兼プログラム戦略リーダー(レナカパビル)
- 2024年～ ギリアド・サイエンシズ(米国)
バイスプレジデント兼グローバル・コマーシャル・プロダクト・ストラテジー担当(HIV)

学歴

シラキュース大学(米国)にて国際関係学士号取得
アリゾナ州立大サンダーバード大学院(Thunderbird School of Global Management、米国)にてMBA取得

ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズは、全ての人々にとって、より健康な世界の実現を目指し、35年以上にわたり医療の革新を追求し、飛躍的な進歩を遂げてきたバイオ医薬品企業です。当社は、HIV、ウイルス性肝炎、COVID-19、がん、炎症性疾患といった生命を脅かす疾患の予防と治療のため、革新的な医薬品の開発に取り組んでいます。また、世界中の患者さんが当社の科学的イノベーションの恩恵を受けられるよう、グローバルな投資を継続しながら、次の時代の科学的発見、雇用創出、公衆衛生への備えを支えるため、米国での事業基盤をさらに強化する 3,200 億

ドル規模の投資計画を2025年に発表しました。当社はカリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界35カ国以上で事業を行っています。